



横川東小だより

第13号

令和7年 1月23日

発行責任者 神山直樹



たくましく 力強く チャレンジする1年に！



1月8日（水）から2学期後半の授業が始まり、早いもので2週間が過ぎました。

一段と厳しくなった寒さに負けず、また冷たい風にも負けず、子供たちは元気に登校し、授業中はしっかり集中して学習に取り組み、休み時間には校庭に出て、友達と一緒に思い切り走り回ったり、なわとびをしたりと、メリハリをつけながら学校生活を過ごしています。

さて、今年の干支は「巳（み）」。**へび**は、昔からものの豊かさやお金をつかさどる神様、とても神聖な生き物とされてきました。冬休み明けの朝会では、「へびのようにたくましく、そして力強く、新しいことにチャレンジしながら、素敵な1年にしましょう。」と子供たちに呼びかけました。

令和7年も、これまで同様、保護者の皆様や地域の皆様のご理解ご協力の下、本校の子供たちが、健康で楽しくのびのびと学校生活を送ることができるよう、教育活動の充実に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



学校評価より～ご意見・ご提案ありがとうございました～

昨年の11月から12月にかけてご協力いただきました令和6年度の「学校評価」の結果がまとまりました。貴重なご意見等を多くいただき、ありがとうございました。

特に複数の方からいただいたご意見・ご提案への対応案等についてお伝えいたします。

	ご意見・ご提案	本校としての対応案
施設・備品面	「これからも、いろいろ工夫しながら、施設の有効活用を。」	⇒ 今年度は、7月の新図書室の開設のほか、更衣室（主に男子用）や第2かがやきルーム、あおぞらルーム（別室登校対応）の設置などに取り組んできました。今後も既存施設の有効活用、校舎内の整理に努めます。 一方、体育館内の設備や校舎内外のトイレの故障が相次ぎ、子供たちをはじめ、学校を利用される多くの方にご不便をおかけすることが多くなっているのが現状です。 引き続き市教委の支援の下、 速やかな修理・修繕 を心がけるとともに 衛生面・清潔さ を大切に、安全安心な環境整備に努めてまいります。
生活面	「下校時刻の厳守を。」	⇒ 大変ご心配をおかけしております。 児童の安全確保の観点から、今年度から火・木曜日（主に4～6年）は15時45分下校（10分繰り上げ）に変更しました。特に冬場は日没が早いことから、下校時刻を厳守するよう徹底いたします。 なお、下校時刻を含めた学校全体の1日の時程を見直す必要があると考えており、今後保護者の皆様、地域の皆様からもご意見をいただきながら、慎重に検討いたします。

生活面	「子供の手本となる行動・発言・言葉遣いを。」	⇒ 改めて教職員の意識を高め、十分配慮しながら指導支援にあたってまいります。加えて、子供と関わる多くの方々にご理解とご協力いただき子供たちにとって、よりよい言語環境づくりに努めたいと思います。
	「子供が納得できる声掛け、叱り方を。」	⇒ 本校では、毎月1回の「学校生活アンケート」や6・11月の「教育相談」を中心に、常日頃から児童の様子で気になることがあった場合などはすぐに全教職員で情報を共有し <u>担任だけでなく複数名で</u> 、学年や年齢を踏まえた指導支援を行っています。また特に「生命にかかわること」「人に迷惑をかけること」にかかる言動等が見られた場合には、毅然とした態度で対応するよう心がけています。 このたびのご意見を踏まえながら、今後とも <u>一人一人に寄り添い</u> 、できるだけ <u>多くの目で見守り関わって</u> いきたいと思います。お子さんの様子で気になることなどがございましたら、ご遠慮なくご相談ください。
	「スマホやタブレットの正しい使い方を、保護者も子供と一緒に学ぶ機会を。」	⇒ 先日の学校便りにも掲載しましたが、小・中学生が巻き込まれるSNS上でのトラブルが増加する中、情報機器の <u>正しい使い方</u> や <u>情報モラル</u> について、繰り返し丁寧に指導を行う必要があると考えています。 授業参観などを中心に、親子で一緒に学び、考える機会を設けられるよう検討したいと思っています。
学習面	「学年に応じた宿題、課題を。」 「長期休業期間における課題が多いのでは。」	⇒ 家庭学習における課題の量は、学年や発達段階、学習内容などを考慮し設定しています。また習得状況等を踏まえた対応にも努めております。 家庭学習は、その日に授業で習ったことを振り返ったり、反復練習することを通して確実に身に付けたりという課題が中心で、 <u>基礎基本の定着を図る方法の一つ</u> と考えており、 <u>学習リズムの習慣化</u> にもつながるものと考え、取り組ませています。 引き続き、本校の「家庭学習の手引き」に沿って系統的に取り組ませるとともに、子供の負担過重にならないよう配慮していきます。
	「自分の意見をディスカッションする機会をぜひ増やしてほしい。」	⇒ 「コミュニケーション力」「ディスカッションする力」は、予測困難な時代を生きる子供たちにとって、今後ますます必要とされる力です。 コロナ禍の制限がほぼなくなった今年度は、各学年の発達段階に応じて、 <u>話し合い活動</u> や <u>グループ活動</u> の場面を積極的に増やしてきました。今後は、 <u>自信をもって自分の意見を伝える</u> ことなどに焦点化しながら、学校全体でさらなる指導方法の工夫改善に取り組みます。
その他	「委員会・クラブ活動に関する連絡は早めに。」	⇒ 委員会活動は5・6年生、クラブ活動は4～6年生が参加し、月に1回程度実施し、基本的に活動の最後に、次の活動で使うものなどを連絡しています。今後とも徹底していきたいと思います。
	「給食用の白衣が古くなっている。」	⇒ 給食用白衣は、必要に応じて適宜修繕・交換、3年を目安に新規購入しています。エプロン（袖付き）の持参についても諸状況を踏まえ検討したいと思います。なお、糸の解れなどに気が付かれた際には、可能な範囲で修繕にご協力いただけると助かります。

今回いただきましたご意見・ご提案について校内で検討し、引き続き、子供たちが安心して学校生活を送れるよう、また未来を生き抜く力の基盤をしっかりと身につけることができるよう、全教職員で心を合わせ指導支援に努めてまいります。